

しおじり

No.317

令和8年2月1日発行
発行 塩尻市中央公民館
編集 館報編集委員会

ホームページ・各種 SNS は巻末よりご確認ください

塩尻市 中央公民館 検索

TOPICS

- ▶ 地域でつながる「食」の活動
- ▶ まちかど
- ▶ 中央公民館講座紹介



12月26日 宗賀公民館もちつき大会

紙面連動！新しい館報の読み方

スマートLook

講座予約が簡単！
写真も動画も追加で見れる！



ぶどう棚

小さい頃のお正月の楽しみと言えは「お年玉」でした。社会人になつてからは貰わなくなり、気付けば渡す側に。大人になったら貰えないのはなぜ？と思ひ、お年玉について調べてみると、お年玉はもともと、子どもにお金を渡すことではありませんでした。お年玉の由来は「御歳魂」という言葉からきています。御歳魂というのは、お正月に歳神様を迎えるために供えられた丸い鏡餅を指し、お供えたあとに、家長によって家族に与えられていたことが「お年玉」のルーツと言われています。鏡餅は歳神様の生命ともされており、家族に分け与えることで一年を無事に過ごせるように祈つて食べていたようです。また、歳神様の生命を子どもに分け与えることは子どもの成長を願うという意味もあり、現在の「お年玉」の風習の形になりました。

鏡餅を供えるために、餅つきが行われていましたが、餅つきに使われる「杵」と「臼」は、それぞれ男性と女性を象徴しており、生命の誕生や家族の繁栄、子孫繁栄を願う意味が込められ、結婚式や新築祝いなどでも行われ「めでたい行事」としてお正月やお祝いの定番行事として根付いていきました。一人ではできない餅つきは、家族や地域の人々が力を合わせることで一体感が生まれ、絆を深める役割も果たしています。

写真は、宗賀公民館で年末に行われた「もちつき大会」の様子です。宗賀地区子ども会育成会連絡協議会の皆さんや、市内の企業様に協力いただき、大人と子どもが一緒になつて楽しむ様子が伺えました。餅つきだけでなく、様々な伝統文化を子どもたちに伝えることを大切にしていきたいです。